

# 生活単元学習指導案

児 童 2名

指導者 ○ ○ ○ ○

1 単元名 たのしくつくろう

2 単元について

(1) 単元の内容

本単元「たのしくつくろう」では、「絵の具や粘土に触ってあそぼう」や「葉っぱのドレスをつくろう」及び「モコモコケーキをつくろう」での活動を通じて手の触感を豊かにすることと数概念の伸長を目指している。

更に、2名の児童（A，B）の実態に応じ、それぞれの課題を設定して取り組ませることにより、それぞれの児童の意欲を高め、個々の能力の伸長を目指していきたいと考える。

(2) 児童の実態

略

(3) 指導にあたって

本単元では、モコモコケーキを作り、おいしく食べるということを楽しみにさせながら、それに至る指導過程「絵の具や粘土であそぼう」「葉っぱのドレスをつくろう」「モコモコケーキをつくろう」において、こねる、貼る、つかむ、握る、かき混ぜるなどの活動を行い、手の触感を豊かにすることや物と物・図と物の一対一対応を確実にし、数概念を育てることを目指している。

本時の「モコモコケーキをつくろう」では、2名の共通目標として、物と物・図と物の一対一対応を確実にすることを目指していく。更に、有効な支援{声かけ、手を添える、写真カード（手順カード・配膳カード・トッピングカード・コミュニケーションカード等）}を行いながら、Aには対象を注視する、物を握る、かき混ぜるなどの経験を、Bには、自分の意思を他人に伝える経験を積み、個々の児童の発達をうながしていきたいと考える。

### 3 単元の指導計画

時	目 標	おもな評価内容
	①絵の具や粘土に触ってあそぼう	4時間
	②葉っぱのドレスをつくろう	2時間
	③モコモコケーキをつくろう	3時間
1	・モコモコケーキを焼こう	・実際にモコモコケーキを焼いて、トッピング等をする。
2	・配膳を試みよう	・配膳作業の練習をし、一対一対応等を確認する。
3 (本時)	・モコモコケーキ作りのトッピングや配膳作業を通じて動作での一対一対応ができ、実生活に生きる数概念の基本となる力を身に付けることができる	・物と物・図と物の一対一対応を確実に行うことができる。 ・各種カードを注視したり、上手に用いたりしながら、個人の目標の達成に迫ることができる。

### 4 単元の構想

児 童	本単元に関わる実態	本単元でつきたい力	個への配慮・手だて
A	略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「絵の具や粘土であそぼう」「葉っぱのドレスをつくろう」及び「モコモコケーキをつくろう」を通じて触覚を豊かにし、物をつかむこと、握ること等に対する意欲を育てる。</li> <li>・一対一対応をトッピングや配膳等を通じて理解させる。</li> <li>・必要な物を見る態度を育てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「絵の具や粘土であそぼう」では、自由にのびのびと行わせる。</li> <li>・手順カード・配膳カード</li> <li>・トッピングカード</li> <li>・言葉がけ（褒める）</li> </ul>
B	略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1対応をトッピングや配膳等を通じて理解させる。</li> <li>・少しでも自分の必要とすることを伝えられるようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手順カード・配膳カード</li> <li>・トッピングカード</li> <li>・コミュニケーションカード</li> </ul>

5 本時の指導

(1) 目標

①共通の目標

○モコモコケーキ作りのトッピングや配膳作業を通じて動作での一対一対応ができ、実生活に生きる数概念の基本となる力を身に付けることができる。

②個人の目標

A	○教師の促しに応じて、事物を注視しながら、かき混ぜる作業等を行うことができる。 ○教師の支援を受けて、簡単なトッピングができる。 ○教師の支援を受けて、配膳図を見ながら配膳することができる。
B	○教師の支援を受けて、簡単なトッピングができる。 ○教師の支援を受けて、配膳図を見ながら配膳することができる。 ○コミュニケーションカードを使いながら、自分の意思を伝えることができる。

(2) 展開

過程	学習内容	個人学習活動		*個への配慮 【 】評価	教具・準備物等
		A (T1 担任が支援)	B (T2 支援員が支援)		
導入 10分	1 始めのあいさつ ①めあての確認 2 身支度	起立して、始まりの挨拶をする。  見本のケーキを提示しながら、それぞれのめあてを担当が簡潔に確認する。			エプロン スカーフ
展開 25分	3 調理活動 (1)調理 ①ボールに卵を割る。 ②卵を混ぜる。 ③粉を入れる。	①卵を割る。 *卵を割ることは、2人には無理なのでT1とT2が割り、ボールに入れる。 ②卵を混ぜる。 *手を添えて、かき混ぜ作業をさせる。 【評】手を添えられながら、手元を見て作業に取り組むことができる。	*手順カードとかがき混ぜる身振りを示しながら指示をする。		ボール 茶碗 フォーク

		きる。	
	④粉と卵を混ぜる。	④粉と卵を混ぜる。 *フォークを持つ手に力を入れるよう促しながら、必要に応じて手を添える。 【評】手元を見ながら、力を入れてフォークを持ち、かき混ぜ作業ができる。	*手順カードとかき混ぜる身振りを示しながら指示を行う。
	⑤電子レンジに入れる。	⑤型に流し込み電子レンジに入れる。 *こぼさないようにボールから個々の紙カップに取り分けさせ、電子レンジまで運ばせる。	電子レンジ
	⑥トッピングをする。	⑥トッピングをする。 *図カードを見せながら、トッピングの個数を確認させる。 *指をつかみながら一緒に個数を数えさせる。 【評】自分の指先で個数を数えることができる。	*個数を一緒に数えながら確認させる。 【評】声に出しながら個数を数えることができる。
	(2)配膳		
	①配膳カードを見ながら配膳作業をする。	①配膳カードを見ながら配膳作業をする。 *配膳カードを見せながら、フォーク、カップ、ケーキなどを配膳させる。 *配膳カードを注視するように声がけをする。 【評】配膳カードを見ながら、置く場所と置く物の対応に気を付けて、配膳をすることができる。	*コミュニケーションカードを使わせながら、必要な物品を受け取るよう、発語を促す。 【評】コミュニケーションカードを使いながら話をして、必要な物を受け取ることができる。
	②エプロンを脱ぐ	②エプロンを脱ぐ。 *ボタンをはずすこと、たたみ方などを支援する。	
	(3)会食		
	①あいさつ	①着席して、「いただきます」をする。 *「いただきます。」を言うよう声がけをする。 【評】声がけに応じてあいさつができる。	
	②食べる	②フォークを使いながら食べる。 *カップの持ち方等を支援する。 【評】支援を受けながら食べることができる。	
	③あいさつ	③「ごちそうさま」のあいさつをする。 *「ごちそうさまでした。」を言うよう声がけをする。 【評】声がけに応じてあいさつができる。	
終末10分	(4)片付け (5)終わりのあいさつ	①机をふく。②机を片付ける。③ごみを捨てる。 *T1、T2が必要に応じて手を添えながら片付け作業をさせる。 起立して、終わりのあいさつをする。	ふきん